

# 令和時代4年目の稚複部会の活動

稚内市教育研究会 小規模・複式教育部会

## 1. 研究主題など

### (1) 研究主題

『新しい時代を拓き、豊かな心で主体的・創造的にたくましく生きる子どもの育成』  
～自ら考え、解決する子どもを育てることにより学力向上をめざす授業づくり～

### (2) 活動方針

- ①研究の深化環流蓄積が図られる体制づくり
  - ②道へき複連盟研究計画及び稚内市学校教育推進の重点を踏まえた研究推進
  - ③教育課程・各校研究・実践等の交流推進
- (3) 体制・活動
- 低中高ブロック部会毎に部長及び集合学習担当者をきめ運営にあたる。集合学習は東・西地区毎を基本とし可能なら合同を1回実施。
  - 東地区4校は低中学年社会見学、高学年宿泊研修行事を合同で行う。(4年度宿泊研修)
  - 管内等研究大会公開校への指導案検討等における連携協力など。

## 2. 令和4年度の活動

- 5月 総会(書面実施)
- 6月 東地区集合学習
- 9月 東地区合同宿泊研修・社会・生活科見学
- 10月 東地区集合学習実施
- 11月 大岬小・富磯小 公開研
- 2月 東地区集合学習(予定)
- 3月 運営委員会(予定)

## 3. タブレット活用状況

- 昨年度に整備され、インターネットでの調べ学習、ネット上の学習コンテンツ利用学習、クラスルームを介しての教材配布等、Chromeアプリや機能の学習場面での利活用など、タブレットの基本機能を使つての学習は部会

極的に実践された。さらに、本年度は、児童に対しては、近隣校とのオンライン学習や学校を休まなければならない状況の児童・生徒に対するオンライン授業を行っている。教職員の各種会議等でもテレビ会議を有効活用している。

### 【課題など】

- ・各校の具体的実践を交流する場等を部会として推進することができなかった。Meetを使った交流は実際に集まらない状況下では効果的であり、有効活用し近隣校同士で積極的に推進すべきと考える。

## 4. 稚内市複式教育研究大会

### 【11/18 稚内市教育研究大会・稚複大会】

会場校 稚内市立大岬小学校  
稚内市立富磯小学校

- ・主体的に粘り強く学ぶ児童生徒の育成  
～3, 5・6年生算数科複式授業公開  
3年生 国語科授業公開

## 5. 今後の方向性

- ・閉校予定のある学校があることから、組織体制や活動方法など様々な改善が今後必要となる。また、これまでの活動を精査し、見直しや方法について検討する場面が多く見られる。令和の日本型教育が叫ばれて、新しい生活様式や将来の担い手となる子ども達が社会で活躍できるようにするために、10年後を見据えた、教育課程やカリキュラムなど改革を進めていかなければならないと考える。持続可能な社会で生き抜くための力を身につける責務をしっかりと果たしていく必要がある。